

2026年4月18日(土)

## 科学する心について

4月11日～13日まで、今春入学した42期と一緒に千葉県九十九里浜にある白子町までオリエンテーション合宿に行ってきた。途中、マザー牧場にて昼食。土曜日の午後ということもあって渋滞してはいましたが、16:30頃にホテル東天光に到着しました。

最初のプログラムは校長講話で、今年は『科学する心 ～比較と対比から学ぶ』と題してライオンとトラ、陸上競技を引き合いに出して話をしました。マザー牧場にかつてトラを飼育していたことを枕噺に、ライオンとトラの外見、生息地の環境、習性(社会性)などについて取り上げ、似顔絵も描いてもらいました。なかなかの秀作揃いで、次の4作品をベスト賞に選びました。最後に「あなたはライオン派が好き、トラ派が好きか？」と人気投票もしましたが、圧倒的にライオン派が多数でした。単独行動のトラに対して、ライオンは「プライド」と呼ばれる1～2頭のオスと10頭程度のメスからなる社会を形成しており、独りではなく集団生活が良いという協働的思考が強い傾向を

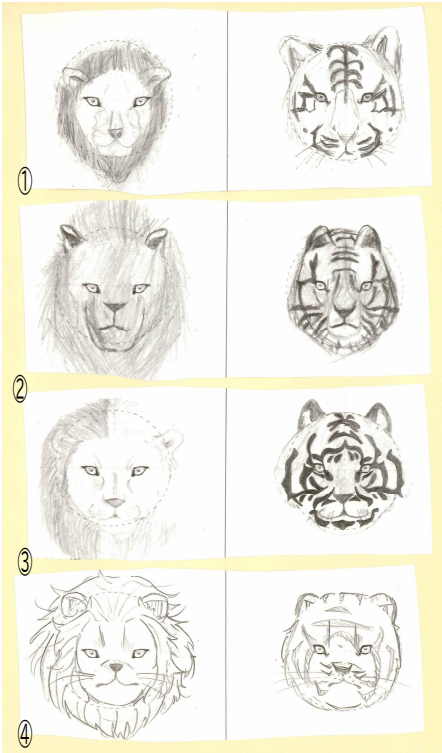
また、2つ目の話題は、私が中学・高校時代に打ち込んでいた陸上競技を取り上げました。日本陸上界で著名な田中 希実さんの練習方法にも触れ、集中力と豊富な練習に支えられたチャレンジ精神にも言及しました。さらには、ケニアやエチオピアのマラソン選手の身体的特性と日本人との違いを話題にしました。さらに、同じ跳躍競技でも走幅跳と走高跳びの競技の特性にも触れ、一発勝負ではなく「より高い目標に向かう精神」の重要性について話をしました。このような身近な事例を話題に、『科学する心』の原初的な発想は「比較と対比」に端を発すること、その違いについて触れ、さらには二項対立概念の基礎を考えることを話題としました。

こうして五感を通じて獲得したことを知らず知らずの内に考察することで、『探究する』学習習慣に結びつくことを共に学びました。

### ref.books

- ・池澤 夏樹(2023)『科学する心』角川ソフィア文庫, 288 頁.
- ・泉 秀一(2025)『アフリカから来たランナーたち 箱根駅伝のケニア人留学生』文春新書, 264 頁.
- ・田中希実(2026)『希わくばの詩』世界文化社, 224 頁.

■ ラインとトラの似顔絵秀作集



■ あなたはライオン派？トラ派？

ライオン派	トラ派
65 票	50 票

\* 白票あり

■ 校長講話で印象的だった言葉

1. 科学する心	21
2. 走高跳びのルール	17
3. run と dash の違い	12
4. マサイ族とスマホ利用	10
5. 比較と対比とは…	9

